

2023年8月10日
商工中金

ナノレベルの高度な表面処理技術を有する 株式会社カツラヤマテクノロジー様を ポジティブ・インパクト・ファイナンスにてサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（四日市支店）は、株式会社カツラヤマテクノロジー様（本社：三重県桑名市、代表者：葛山 徹様）に対し、新工場建設に必要な資金4億3,000万円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています

同社は、研磨治具・研磨布の加工及びフッ素薄膜等の表面処理加工を手掛けています。研磨治具・研磨布は半導体製造工程で使用されており、同社の加工技術は、社会のデジタル化に大きく貢献しています。

今回同社は、新工場建設による生産能力の拡大や働きやすい職場環境整備等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。雇用創出や環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社カツラヤマテクノロジー様の概要】

所在地	三重県桑名市陽だまりの丘5-104
代表者	葛山 徹様
業種	研磨治具・研磨布加工、フッ素薄膜加工
資本金	6,000万円
従業員数	53名（2023年7月時点）
設立	1990年10月



【明石岡建事業部工場】

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※) 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

